

# Victory

NO.12  
令和4年3月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

先週末からの暖かさで桜の開花が見られるところも多いのではないのでしょうか。今月は、高校三年生が1日に、中学三年生が16日にこの学び舎を巣立っていきました。

さて、みなさんはこの一年間を振り返り、何を思い、考え、感じていますか？世の中は新型コロナウイルスに加え、ロシアとウクライナの戦争勃発と激動の渦中にあります。この時代を生きる私たちにできることは何でしょう。そんなことを考える今日この頃です。

一年間、図書館を活用してくれて有難うございます。みなさんと共に成長する図書館でありたいと思います。今月の一冊は、『時に海を見よ これからの日本を生きる君に贈る』159ワ・渡辺憲司著（双葉社）です。



展示中!



## 授業支援あれこれ風景



高校2年「現代文」：『藤野先生』魯迅著

単元目標は、「小説を読み、描かれた人間や社会について理解し、時代背景を理解し、人間の生き方について考えを深める。」

単元の流れ・作品を読む。

- ・時代背景を理解する（地歴選択科目の視点から調べるクラスもありました：教科横断）。
- ・POPを作成。（表現と言語活動）
- ・クラスのPOP作品を評価。
- ・各クラスのベストPOP1選出後、図書館に展示。

◎図書館の支援は、「メイカースペース」の提供です。

教科の単元ごとにまとめとして、様々な表現活動が行われることが今後ますます増えていきます。ポスター、POP、新聞、パンフレット、リーフレット等文房具を活用したこれらの表現活動を図書館は支援しています。はさみ、のり、マーカー、色鉛筆、クーピー、色画用紙、模造紙、マスキングテープ、セロテープを9グループ分常備しています。



## 長期貸出と開館日のお知らせ

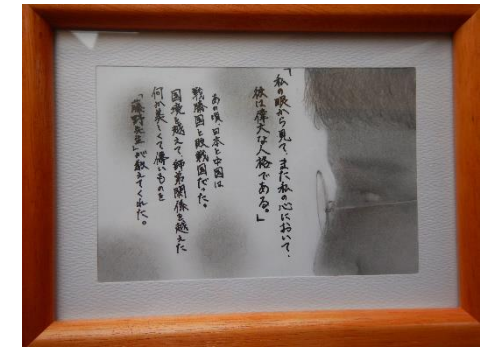
この春休みに「探究のタネ」を掘り下げる素材を図書館で見つけよう！  
～春だもの、あなたの傍らに本を一冊どうですか？～

開館期間：3/14(月)～23(水)

3/28(月)、29(火)

貸出冊数：ひとり10冊まで

返却日：4/8(金)始業式





# よく読まれた本ベスト3

今年度、貸出回数の多かった本を中学生、高校生それぞれ紹介します。

中・高どちらも1位だったのはこちらの本。

1位

『薬屋のひとりごと』

(シリーズもの)

日向夏著

(集英社)

NDC913.6ヒ



【ストーリー】

中世の宮中で下働きをする薬師猫猫(マオマオ)の好奇心から物語は始まる。彼女の目の前で起こる不可思議な出来事や怪事件をいつしか一緒に解いている自分(読者)に気づかろう。朝読にもおすすめの一冊です。

中学2位

『押し燃ゆ』宇佐美りん著

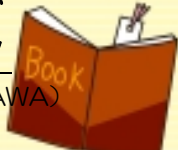
(河出書房新社) NDC913.6ウ

高校2位

『あやしお宿が町おこします。』

友麻碧著 (KADOKAWA)

NDC913.6コ



中学3位

『Bの戦場』ゆきた志旗著

(集英社) NDC913.6コ

高校3位

『物理チャレンジ 独習ガイド』

杉山忠男著 (丸善)

NDC420ス



## 一人当たりの貸出冊数



今年度の一人当たりの貸出冊数は以下のとおりでした。

来年度はさらに「知りたい!」「読みたい!」と感じてもらえる本をより充実させていきたいと思えます。

中学生 23冊

高校生 5.2冊



今年度入った本の冊数 (寄贈・購入)

1,860冊



投稿お礼

ねこの日特集：猫大集合!

Victory No.11 (2月)でお知らせしていたイベント企画に、6名のみなさんが投稿してくれました。有難うございました!! Google フォームを活用した参加型のイベントは、図書館として初の試みで投稿してくれるかとても不安でした(本当です)。

現在も図書館入り口のサイネージと館内に展示コーナーを設置して見られるようにしています。募集のお知らせも、センスあふれる図書委員の力作(初作成!)でした。

今後は、「犬ラブ」「いぬでもねこでもない愛すべきペットたち」(仮名)の特集を企画する予定です。

こんな本が読みたい、こんなイベントをしてほしい(してみたい)など、ありましたらどんどん投げかけてくださいね。

みんなでおもしろい図書館にしていきたいと思います。

National Cat Day in Japan

2022/2/22

~キャスト紹介

ジャム様♂2歳 (AH氏)



マロン様♀7歳 (MN氏)



こてつ様♂2歳 (ST氏)



ろうすけ様♂2000歳



(KH氏)

小梅氏様♀4歳 (YK氏)



初の試みでした。投稿、出演ありがとうございました。



扉を開こう。新たな世界が君を待っている。

図書館の重要な役割の一つに、さまざまな情報を利用者へ届けるということがあります。これまで、毎月の図書館通信やサイネージで発信をしてきましたが、来年度はそれに加えて Google classroom「STEAM Library」(仮名)を作ろうと考えています。SNSを有効に活用した双方向型の情報発信ができる場があるといいと思いませんか?本の情報や、予約、読んだ本の感想などなどフレキシブルに活用できる「場」を目指します。